

令和4年度 決算状況							人口 令和2年国調 平成27年国調 増減率	5,072人 5,628人 -9.9%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名 団体名		市町村類型	Ⅱ-O
							面積 人口密度	568.25km ² 9人	令5.1.1 令4.1.1 増減率	4,775人 4,963人 -3.8%	4,771人 4,959人 -3.8%	区分	令和2年国調	平成27年国調	01 3706 北海道 今金町		地方交付税種地	2-1
歳入の状況（単位：千円・％）										第1次 第2次 第3次		706 28.1 341 13.6 1,464 58.3		820 29.3 386 13.8 1,592 56.9				
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況（単位：千円・％）						指定団体等 の指定状況		収入		支出		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質年度収支 繰上立金 繰立金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		8,128,242 7,910,287 217,955 197,010 20,945 -19,538 2,166 - 13,032 -30,404		6,998,166 6,957,682 40,484 1 40,483 18,740 172,752 - - 191,492		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳						